

シラバス

2024 年度

ビジュアルデザイン科メディアデザイン専攻2年

学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科/ビジュアルデザイン科/研究科

履修ガイド

1. シラバス・出講表

- (1) 各授業のシラバス・出講表として授業内容の他、学習目的、予習、準備物、注意事項とともに評価方法および教員・講師の出講日も記載。授業の1週間前にはアトリエに出講表を掲示。また学校ホームページでも確認することができる。
- (2) シラバスには次の内容が記載されている。
「授業名」「担当教員」「授業期間：」「学習目標」「授業内容」
- (3) 出講表には次の内容が記載されている
「授業名」「担当教員」「受講アトリエ」「修得単位」「授業内容」「授業スケジュール/計画」「指導日」「学習目標」「予習・準備物」「注意事項」「評価方法」
- (4) 指導日以外は授業が休みということではない。指導日以外の「自主制作日」も各自で制作を進めること。授業期間：で制作を行うことで時間数に基づき単位がそれぞれ設定されている。スケジュールを確認し、作品提出日をしっかり守ること。
- (5) シラバス、出講表、年間行事は学校ホームページで閲覧できる。
(創形ホームページ→学生生活→スクールガイド→シラバス・出講表)
※年間行事の変更があった場合には、その都度更新される。

2. 単位

単位認定

各授業科目について基準に従って履修し合格すると、その授業科目に割り当てられている単位が与えられる。授業毎の修得単位は「出講表」に記載される。単位取得には成績および出席も含め総合的に判断される。授業科目には「学科科目」と「実技科目」からなる。(P10「4.単位制度」参照)

- (1) 「学科科目」「実技科目」とともに、各授業の基準に従い、合格と認定された学生には、所定の単位を与える。
- (2) 各授業科目に対する単位は以下のような算定基準に基づき授業が開設される。
1 コマ(90分)の授業が前期、または後期に週1回を基準に開設されている授業に対し1単位を基準とする。2 コマ(180分)の集中授業が3~4週間を基準に開設されている授業に対し2単位を基準とする。
※1単位:約25.5時間=1コマ17週相当
- (3) 各授業の修得単位数は「出講表」に記載されている。

進級の単位数

進級するには、1年間の修得単位が32単位以上なければならない。

卒業・修了の単位数

本課程を卒業するには3年以上在学し、かつ所定の96単位以上(編入生は2年以上在学し、合計64単位以上)修得しなければならない。研究科は1年以上在学し、かつ所定の32単位以上修得しなければならない。

3. 履修

- (1) 授業について単位を修得するためには2/3以上の出席が必要となる。止むを得ず授業を欠席する場合、必ず事前に学校へ連絡すること。
- (2) 原則、指導日の授業開始時に出欠確認を行う。遅刻・早退は記録し、3回をもって1回の欠席扱いとなる。
- (3) 交通機関の遅れに関しては必ず遅延証明書を授業担当教員へ提出すること。
- (4) 学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。
- (5) 学生は出席率85%を最低水準レベルとして求められる。
- (6) 選択科目に限らず授業登録は、授業途中からの受講や、受講を途中で取りやめることはできない。
- (7) 選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行うことがある。

4. 採点

- (1) 受講した科目は課題(レポート含む)を提出しなければならない。
- (2) 必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行うことがある。
- (3) 科目の採点は、授業終了時に授業担当教員によって行われる。
- (4) 採点の方法は課題(レポート含む)の提出を含む総合的な評価で採点する。
※評価方法はシラバスに掲載。
- (5) 受講した科目の出席日数が3分の2以上に満たない者は、原則として採点を受けることができない。

5. 追採点

病気その他やむを得ない事由により課題(レポート含む)を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。ただし課題(レポート含む)内容は授業内の課題(レポート含む)と異なる場合がある。

6. 成績評価

成績は 100 点満点とし、60 点以上を合格として 5 段階で評価する。

(1) 採点は、60～100 を合格とし、それ以下を不可とする。

(2) 配点区分は下記に記す。

(3) 「実技科目」の成績評価は、定められた単位数に応じて課される課題作品・論文のすべてが対象になる。成績評価に当たっては、出席回数が授業回数の 2/3 以上になっていることや、学習状況等、総合的に判断される。一つの授業科目で未提出課題作品・論文があると、その科目の単位は認定できない。課された作品・論文はすべて指定された日時に必ず提出すること。提出期限に遅れた作品・論文の提出は原則として認められない。ただし担当教員が許可した場合はその限りではない。

(4) 作品、レポート等の提出物に関し、履修者以外の者が代理で作成、または他の者が作成した作品レポート等を自ら作成したとして提出した場合は不可とする。

(5) 本課程は前期、後期授業において学期末に学科・実技の履修状況の確認を学生・保護者に郵送する。単位不足のある学生は学校の指示に従い、不足分の単位修得を行わなければならない。

※住所が変わった場合等は必ず事務窓口申し出て、手続きをする必要がある。

採点	評価	
100～95	AA	合格
94～80	A	
79～70	B	
69～60	C	
59～0	D	不可
保留	-	仮処置

GPA(Grade Point Average)成績評価制度

創形では、5段階の成績評価と GPA(Grade Point Average)制度を導入している。GPA とは 1 単位あたりの成績の平均値を示すもの。成績評価の 5 段階評価で GPA を算出、表示することで学修の到達度がより明確に示される。その目的は学生一人ひとりが自らの履修管理に責任を持ち、履修登録した科目を自主的、意欲的に学修すること。5 段階評価や GPA 制度は外国の多くの大学が採用しており、国際化に対応した成績評価方法。留学や大学院進学等を希望する場合には必要な制度となる。

7. 休講

やむをえず休講となる場合は、授業内、ホームルーム、G-mail 等にて伝達する。補講は原則行わない。

8. 再履修・仮進級

採点の結果「不可」となった者は、次年度以降において原則としてその科目を再履修しなければならない。ただし在籍学年の履修を優先とするため、履修科目の変更、または再履修年度の変更についての決定は学校の指示に従うこととする。修得単位数が1年次、2年次それぞれで15単位以下、または1～2年次を通じて合計32単位以下は留年となる。16単位以上で所定の32単位に足りず、進級判定審査において判定された場合は「仮進級」という扱いになる。

- (1) 採点の結果、点数が59点以下の場合は「不可」となり、原則として次年度以降において再履修となる。授業担当教員による採点が「保留」と評価された場合は、追課題(レポート含む)が課せられる。追課題の採点は専任教員の判断に委ねられ、成績会議によって判定される。
- (2) 提出日より遅れての提出や、課せられた追課題の提出等が授業担当教員、あるいは専任教員に認められた場合には総合的な判断で採点し、合格と認定された場合のみ単位習得となる。

9. 専攻を越えた授業

専攻を跨いで受講することが可能。ただし専任教員の許可が必要。

- (1) 授業開始の2週間前までに「受講届」を直接専任教員に提出。面談し、了承を得てから受講すること。
- (2) 授業によっては、そこで使用する道具、機材やアプリケーション等の関係で受講できないことがある。
- (3) 原則、自身の専攻を疎かにしない範囲での受講となる。
- (4) 「受講届」は学校ホームページよりダウンロードできる。
- (5) 専攻を跨いで受講した授業における単位は、その授業の修得単位とする。

10. 卒業制作

3年次後期に卒業制作を提出し、その単位(16単位)を修得しないと卒業できない。卒業・修了制作は定められた日時までに必要な書類、作品を提出すること。規定日時以降の提出は無効となる。

※不慮の事故、交通機関の遅延等により定められた日時に持参して提出できない場合は、必ず期限以内に学校に電話でその旨を連絡する必要がある。

※交通機関の遅延等で提出が遅れる場合は、駅長又は交通機関の発行する遅延証明書を持参しなければならない。

11. 卒業・修了資格判定および卒業・修了判定

- (1) 卒業・修了年次の11月に卒業・修了資格判定会議にて「卒業・修了資格判定」を行う。また翌年の2月に卒業・修了判定会議にて「卒業・修了判定」を行う。
- (2) 卒業・修了資格判定会議にて成績、出席等、総合的に審査し、「合格」と認定された者は、卒業・修了制作に着手できる。また「判断保留」と判定された学生についても、同様に卒業・修了制作に着手できる。審査の結果「卒業・修了不可」と判定された者は、卒業・修了制作に着手することはできない。
- (3) 卒業・修了判定会議にて単位修得状況、成績、出席、卒業・修了制作規程違反の有無等、総合的に審査され、「合格」と認定された者は、卒業、あるいは修了が認められる。「卒業・修了不可」と判定された者は、留年、退学、もしくは除籍となる。また「卒業・修了保留」と判定された者は、要件付きで3月末日、9月末日、ないしは翌年3月末日の卒業延期となる。その場合、期日までに要件を満たし、かつ卒業・修了判定で「合格」と認定される必要がある。期日までに要件が満たされない場合、1年間までは卒業延期となる。ただし、1年間を経過しても要件が満たされない、あるいは「卒業・修了不可」と判定された場合は退学、あるいは除籍となる。
- (4) 「卒業・修了保留」と判定された者のうち、特に情状が考慮された場合に限り、通常の卒業が許される。
- (5) 卒業・修了資格判定にて「判断保留」と判定された学生のうち卒業・修了判定会議にて「合格」と認定された者は、その時点で「判断保留」が解除される。

12. リモート(遠隔)授業

本校では対面授業の他にリモート(遠隔)授業を行う。リモート授業はスマートフォンでの受講も可能であるが、可能であればパソコンやタブレットでの受講を推奨する。十分な環境が整っていない学生のために学内に受講教室が用意されている。またネット環境が不安定で映像や音声が入る等の恐れがある場合も学内の受講教室での受講を推奨する。

リモート授業は以下の2タイプの授業形態である。

- (1) 「リアルタイム授業」はZoomを使用してリアルタイムに行う授業である。
- (2) 「オンデマンド授業」は創形特設ページ(限定公開)にアクセスし、録画された動画を視聴し、受講する授業である。動画視聴は創形生のための非公開となる。パスワードは学外に漏れないように取り扱いには充分注意すること。

※授業の形態や授業の進め方に関しては授業担当教員から説明される。

リアルタイム授業の進め方

- (1) リアルタイム授業はあらかじめ Zoom をインストールして授業を行う。スマートフォンでも受講可能。
- (2) Zoom の表示名は必ず学籍簿登録の氏名とすること。学生登録名になっていない場合、欠席扱い、あるいは退出させることがある。
- (3) Zoom アカウントの ID とパスワードは事前に各授業ごとにメールで通達する。
- (4) 配布する授業資料がある場合は Zoom アカウントの ID 等と共に連絡し、本校ホームページ、あるいは Google Classroom へ PDF でアップするか、登校時に配布する。受講生は事前に目を通し、場合によってはプリントアウトしておくこと。資料を閲覧できるのは創形生のみ、非公開となる。取り扱いには十分に注意すること。
- (5) 授業は原則、通常の授業時間で行う。授業開始 5 分前までに準備し、接続すること。
- (6) できるだけ静かな場所で背景に映り込むものに不都合がないか確認し、受講すること。ハッキングや情報漏洩のリスク軽減のため、フリーWi-fi の使用は推奨されない。
- (7) ウェブカメラ付きのパソコンやスマートフォン等を使用し、カメラは必ず ON にし、マイクはミュートにして受講すること。質問など発言する際にマイクのミュートを解除して使用すること。発言する際には必ず教員の許可を得ること。
- (8) 教員への質問はチャット機能を使用するか、教員が許可した場合にマイクのミュートを解除して行うこと。教員の音声途切れた場合等も同様にチャット機能を使用するか、マイクのミュートを解除して質問、または再度話し直してもらうようお願いすること。
- (9) 授業時間内での Zoom での対応は教員の指示に従うこと。一時的に Zoom から退出する場合は、担当教員に必ず許可を得ること。
- (10) 自宅のネット、パソコン環境が不十分な学生は学内の受講教室にて受講すること。またリアルタイム授業終了後に次の授業までの登校時間が確保できない学生も同様に学内の受講教室にて受講すること。

リアルタイム授業の出欠・採点

- (1) 担当教員が Zoom で確認して出欠を取る。あるいは Zoom の録画機能を使用する。遅刻した場合はチャットあるいは音声にて必ず担当教員へ申告すること。また途中での退席は早退扱いとなるので注意すること。一時的に Zoom から退出する場合は、担当教員に必ず許可を得ること。
- (2) 作品、レポートの提出は授業担当教員の指示に従うこと。採点は対面授業と同様の方法にて

行われる。

- (3) データでの提出は担当教員の指示に従い、Google ドライブ、DropBox 等で提出することもある。
- (4) 作品データを添付する場合は 10MB 以内にすること。10MB 以上のデータサイズの場合はオンラインストレージサービス等を使用すること。以下参照。
オンラインストレージサービス〈ギガファイル便〉 <https://gigafile.nu/>
※1 ファイル=200GB まで可能。使用方法が分からない場合はメールにて学校へ問い合わせること。

オンデマンド授業の進め方

- (1) オンデマンド授業は、Gmail アカウントを使用する。
- (2) 創形特設ページ(限定公開)にアクセスし、録画された動画を視聴して行う。スマートフォンでの受講も可能。
- (3) 創形特設ページのアカウントの URL や ID、パスワード等を事前に通達する。
- (4) 授業動画は、各自でアクセスして視聴すること。1 回の授業に対してレポートか作品制作などの提出物がある。提出日に注意し、遅滞なく提出すること。それらの提出が無い場合は受講したことにならないので注意すること。
- (5) 授業内で作品に対する講評やコメントに関してもオンラインで行うことがある。
- (6) 配布する授業資料がある場合は、創形特設ページのアカウント ID 等と共に連絡し、本校ホームページ、あるいは Google Classroom へ PDF でアップするか、登校時に配布する。受講生は事前に目を通し、場合によってはプリントアウトしておくこと。動画視聴、および資料を閲覧できるのは創形生のみとなる。パスワードは学外に漏れないようにまた資料の取り扱いには充分注意すること。
- (7) 自宅のネット、パソコン環境が不十分な学生は学内の受講教室にて受講すること。

オンデマンド授業の出欠・採点

- (1) 授業の形態や授業の進め方に関しては授業担当教員から説明される。
- (2) 授業の出欠は作品、レポート等の提出物が期限内に提出されたことの有無で担当教員が取る。期限内に必ず提出すること。
- (3) 作品、レポートの提出は授業担当教員の指示に従うこと。採点は対面授業と同様の方法で行われる。
- (4) データでの提出は Google ドライブ、DropBox 等で提出することもある。
- (5) 作品データをメールに添付する場合は 10MB 以内にすること。10MB 以上のデータサイズの場合

合はオンラインストレージサービス等を使用すること。(上記参照)

リモート授業における禁止事項

- (1) ビデオ通話、音声通話の、録画・録音・撮影は禁止。また転記することも禁止。
- (2) 許可なく誰かを同席させるのは禁止。もしも同席を希望する場合は、事前に教員の許可が必要。

13. 提出作品・参考作品

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、速やかに返却を行う。返却された作品は速やかに持ち帰ること。返却された作品が放置されていた場合に処分することがある。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンス等で使用することがある。また、学校案内用の印刷物や広報(ホームページ、SNS など)および学校外等、授業以外での目的で作品や授業風景画像を使用することがある。

14. 授業単位サポート制度

「授業単位サポート制度」とは単位修得をサポートするための制度。いずれも専攻担当専任教員と面談を通じて認定される。

代替授業・学外活動を通じて認定

- (1) 所属専攻、該当学年の授業以外の授業を受講することによる単位修得(単位数:受講授業単位に準ずる)
※所属専攻の授業と重複した場合は受け入れ授業の担当教員の許諾により、途中からの受講、中抜けも認め、その場合のみ出席扱いとする。
- (2) インターンシップに参加、レポートを提出することによる単位修得(単位数:1単位)
※2年次の「インターンシップ」の授業と同様のインターンシップを、授業以外の期日に行った場合に認める。「インターンシップ」の授業同様に書類、レポート提出が必須。採点方法は受入会社の評価に従い採点。
- (3) ボランティア活動等による単位修得(単位数:活動期間に準ずる)※単位認定は原則、実質1日8時間のボランティア活動を5日行う事で1単位とする。事前に専攻担当専任教員による面談を行い、ボランティア活動を行った後に「ボランティア活動報告書」の提出をもって認定。採点評価。認定される。
ボランティア活動に、豊島区の国際アート・カルチャー活動を含む。
- (4) 学外コンペに出品することによる単位修得(単位数:1単位)

※専攻担当専任教員にコンペの内容を事前に報告し、出品前に専攻担当専任教員の講評を受けて出品すること。ただし授業の一環として行われたコンペの出品は認められない。

例：「日本タイポグラフィ年鑑学生部門」「アワガミ国際ミニプリント展」「回遊美術館」
「GU タペストリーコンペ」 etc

特別支援授業を通じて認定

特別支援授業を受講することによる単位修得(単位数:各1単位)

受講料:1講座 15,000円/採点方法:提出作品、試験、レポート等によって採点。

※特別支援授業とは、単位取得を支援するために行われる授業。春期休暇、夏期休暇に「学科科目」と「実技科目」が開設。授業日の前の週までに事務局窓口で受講することを告げ、受講料を支払うことにより受講が認められる。

ビジュアルデザイン科メディアデザイン専攻

シラバス

2年次ビジュアルデザイン科
 ■メディアデザイン専攻 単位一覧

	授業科目	履修形式	単位数	
学科	色彩論	必修	1	
	小計		1	
実技	デザイン演習ⅡA	写真と撮影	必修	4
		アニメーション&サウンド		
		豊島広報A		
	デザイン演習ⅡB	メディアデザイン基礎A	必修	4
		タイポグラフィ基礎		
	表現演習ⅡA	WEBデザインA	必修	7
		ストップモーションアニメ		
		映像制作1A		
		ポートフォリオ		
	表現演習ⅡB	デザインの仕事と現場	必修	8
		パッケージデザイン&セルフプロモーション		
		豊島広報B		
		adobe 検定		
		WEBデザインB		
		映像制作1B		
視覚言語ⅡA	VR	必修	12	
	広告デザイン			
	ブランディング			
	イラストアニメーション			
	モーションデザイン			
	就活ポートフォリオ			
視覚言語ⅡB	インターンシップ	選択	1	
	小計		35	
	合計		36	

【前期時間割】

IL		GD		MD	
am 9:20-12:30	Pm 13:30-16:30	am 9:20-12:30	Pm 13:30-16:30	am 9:20-12:30	Pm 13:30-16:30
ブックD (佐野)		Dプロセス (松陰)	写真撮影 (藤谷)		写真撮影 (藤谷)
商品企画・デザイン ((株)サンシャインエンタ プライズ)	デジタルIL (花島)	商品企画・デザイン ((株)サンシャインエンタ プライズ)	豊島広報 (黒川&岡山)	A&S (松本&本多)	豊島広報 (黒川&岡山)
メディアD基礎 (高林)	IL基礎 (山崎)	メディアD基礎 (高林)	タイポ基礎 (木村)	メディアD基礎 (高林)	タイポ基礎 (木村)
Web・D (秋山)	コミックA (杉木)	Web・D (秋山)		Web・D (秋山)	ストップM (こぐま)
/色彩論	ZINE制作と原画展 (関根)	/色彩論	エディトリアル (奥定)	/色彩論	映像制作 (奥牧)
/就講 (卒業生)		/就講 (卒業生)		/就講 (卒業生)	

【後期時間割】

IL		GD		MD	
am 9:20-12:30	Pm 13:30-16:30	am 9:20-12:30	Pm 13:30-16:30	am 9:20-12:30	Pm 13:30-16:30
/仕事と現場	P&SP (岩谷&藤本)	/仕事と現場	P&SP (岩谷&藤本)	/仕事と現場	P&SP (岩谷&藤本)
			豊島広報 (黒川&岡山)		豊島広報 (黒川&岡山)
/Adobe検定		/Adobe検定		/Adobe検定	
Web・D (中須賀)	絵本A (竹内)	Web・D (中須賀)		Web・D (中須賀)	映像制作 (奥牧)

学科科目：前期学科授業名：「色彩論」 担当教員：岩崎沙織

授業期間：2024/04/12(金)– 2024/09/27(金)

授業時間：11：00–12：30

修得単位：1 単位

学習目標：カラーコーディネートやUC（色のユニバーサルデザイン）など、実践的な色の知識・テクニック習得を目指します。配色ルールや色彩イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。

授業内容：デザインにおける色の役割、色彩の基礎知識、UC（色のユニバーサルデザイン）、色彩心理、色彩調和の講義・課題制作。コンクール作品の制作・発表 ※AFT 色彩検定 3 級・UC 級対応。

実技科目：前期実技授業名：「写真と撮影」 担当教員：藤谷勝志

授業期間：2024/04/15(月)– 2024/09/09(月)

授業時間：13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：デジタル一眼レフカメラをオート撮影だけでなく、マニュアル撮影でも使えるようにします。JPEG と TIFF の違い、RAW データについて理解してもらいます。聞き慣れない言葉が多いかと思いますが、最後は写真の面白さを知り、写真好きになります。

授業内容：カメラの種類、カメラの基本的構造、レンズの種類、特性を知ってもらいその使い方を理解していただきます。iPhone はなぜ押すだけで写真が撮れるのか、オート撮影とマニュアル撮影の違い、そして使い方をカメラを手にして教えます。カメラ操作が理解できたら写真を撮る上で最も大切な「光」について説明します。実際に外での撮影と代々木にある僕のスタジオで撮影実習を行います。

実技科目：前期実技授業名：「アニメーション&サウンド」

担当教員：本多裕史、松本 力

授業期間：2024/04/16(火)– 2024/07/09(火)

授業時間：9：20–12：30

修得単位：1 単位

学習目標：アニメーションのためのドローイングを描き、ガレージバンドなどのアプリケーションを用いて、独自の観点での映像と音楽の小作品を制作する。

授業内容：映像表現は、自分の時間＝記憶にかたちをあたえます。ストップモーション・アニメーションの技法と、時間芸術としての音楽の作曲で、生きる目的（意味）と想像力（意志）と批評性（意図）をもって、心象をあらわす生き活きとしたフォルムを探る、映像と音楽の魅力を追求します。

実技科目：前期実技授業名：「豊島広報A」 担当教員：黒川芳信、岡山拓史

授業期間：2024/04/16(火)– 2024/09/24(火)

授業時間：13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：写真＝レンズによる描写の基本を学ぶ。動画という表現の構成を学ぶ。調査した情報を視聴者にとって興味のある有益な情報に変容させるかを学ぶ。自らの企画をプレゼンテーションし、他者に企画意図を伝えることを学ぶ。出来上がった作品についてプレゼンテーションし、企画意図などを伝えることを学ぶ。

授業内容：映像表現の一つの基礎である写真を学び、動画制作につなげます。課題は、豊島区広報課をクライアントに、豊島区に取材した動画作品を制作します。撮影技法に始まり、企画立案、調査、ロケーションハンティング、シナリオ制作、絵コンテ制作、撮影、編集を経て作品を完成させます。完成した作品は、豊島区のケーブルテレビで放送の予定です。

実技科目：前期実技授業名：「メディアデザイン基礎A」

担当教員：高林直俊

授業期間：2024/04/10(水)– 2024/09/25(水)

授業時間：9：20–12：30

修得単位：1 単位

学習目標：各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自己スキルをしっかりと分析し把握します。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。

授業内容：各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。

実技科目：前期実技授業名：「タイポグラフィ基礎」 担当教員：木村文敏

授業期間：2024/04/10(水)– 2024/09/25(水)

授業時間：13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：文字形状を見る目を養い、活字書体の知識を身に付け、組版や造形のセンスを磨きます。同時に課題を通して「読みやすさ」とは、「文字を組む」とは一体どういうことなのかを考えます。

授業内容：文字造形の基礎演習を経て、書体の歴史や変遷を学び、定番フォントの特徴や個性を探り、文字組みの基本とフォントの使い方を学習した後、オリジナルのフォントを制作します。

実技科目：前期実技授業名：「Web デザイン A」 担当教員：秋山カズオ

授業期間：2024/04/04(木) - 2024/09/26(木)

授業時間：9：20-12：30

修得単位：2 単位

学習目標：WEB サイトを知識と実習で理解します。WEB 用語の習得や WEB デザインの内容、最新のトレンドなど生活の一部となった WEB サイトを理解するとともに、伝わる表現や使いやすい WEB デザインの習得を目標とします。

授業内容：WEB を利用したマーケティングやコミュニケーションは今や日常生活には欠かせないものになっています。最新の WEB のトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、背景にある想いやメッセージを理解する力を育みます。最終的には WEB サイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。

実技科目：前期実技授業名：「ストップモーション・アニメーション」

担当教員：こぐまあつこ

授業期間：2024/04/11(木) - 2024/09/26(木)

授業時間：13：30-16：30

修得単位：2 単位

学習目標：アニメーションの基礎講座と手作り素材を使ったアニメーション制作

授業内容：アニメーション表現についての基本と実践。

手作りの素材(粘土・切り紙等)のアートワークを楽しみながら、アニメーションの基本を学び、短編作品(ミュージックビデオ)を制作する。個々に立てた企画テーマに合わせて、制作の時間配分にはじまり、シノプシス、絵コンテ、ビデオコンテ、タイムシートといった制作過程を通して作品を完成させる。及び、自己管理とプレゼンテーション能力の育成。

実技科目：前期実技授業名：「映像制作 1A」 担当教員：奥牧裕介

授業期間：2024/04/12(金)－ 2024/09/27(金)

授業時間：13：30-16：30

修得単位：2 単位

学習目標：Adobe CC(クリエイティブクラウド)など、映像制作に関連したアプリケーションの演習。カメラや照明などの撮影機材と PC(デジタル処理) を使用した映像制作方法の理解。3DCG を使った映像の制作体験。

授業内容：デジタル技法を用いた映像制作の基本・課題制作。

実技科目：前期実技授業名：「ポートフォリオ」担当教員：白川桃子

授業期間：2024/04/13(土)－ 2024/09/28(土)

授業時間：9：20-12：30

修得単位：1 単位

学習目標：ポートフォリオ制作を通して、自身のクリエイティビティを發揮した上でブランディング構築をしたり、仕事に対する意識を高めたりと、将来のキャリア形成に役立てることを目標とします。ポートフォリオに完成はなく、日々アップデートしていくものです。いきなり 100 点は目指さずに、まずは手を動かしてつくってみることから始めましょう。

授業内容：「伝わるポートフォリオづくり」

就職活動時に必要なポートフォリオにおける、基本から実制作までステップを経て進めていきます。

基本では、そもそもポートフォリオをつくる目的や、自己分析、業界理解、制作プロセス・ポイントなどを学びます。実制作では個別のフィードバックを通して一緒に相談しながらポートフォリオをつくりあげ、自身の今後につなげていきましょう。

実技科目：後期実技授業名：「adobe 検定」 担当教員：三浦英介

授業期間：2024/10/03(木)– 2025/02/16(木)

授業時間：11：00–12：30

修得単位：1 単位

学習目標：新規授業のため後日更新

授業内容：新規授業のため後日更新

実技科目：後期実技授業名：「デザインの仕事と現場」 担当教員：大久保裕文

授業期間：2024/10/07(月)– 2025/02/03(月)

授業時間：11：00–12：30

修得単位：1 単位

学習目標：印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイデアや実際の作業の説明。

授業内容：いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。

実技科目：後期実技授業名：「パッケージデザイン&セルフプロモーション」

担当教員：岩谷 昇、藤本 陽

授業期間：2024/10/07(月)– 2024/12/09(月)

授業時間：13：30–16：30

修得単位：1 単位

学習目標：新規授業のため後日更新

授業内容：新規授業のため後日更新

実技科目：前期実技授業名：「豊島広報B」 担当教員：黒川芳信、岡山拓史

授業期間：2024/10/01(火)– 2025/02/04(火)

授業時間：13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：写真＝レンズによる描写の基本を学ぶ。動画という表現の構成を学ぶ。調査した情報を視聴者にとって興味のある有益な情報に変容させるかを学ぶ。自らの企画をプレゼンテーションし、他者に企画意図を伝えることを学ぶ。出来上がった作品についてプレゼンテーションし、企画意図などを伝えることを学ぶ。

授業内容：映像表現の一つの基礎である写真を学び、動画制作につなげます。課題は、豊島区広報課をクライアントに、豊島区に取材した動画作品を制作します。撮影技法に始まり、企画立案、調査、ロケーションハンティング、シナリオ制作、絵コンテ制作、撮影、編集を経て作品を完成させます。完成した作品は、豊島区のケーブルテレビで放送の予定です。

実技科目：前期実技授業名：「Web デザイン B」 担当教員：中須賀美和子

授業期間：2024/10/02(水)– 2024/12/11(水)

授業時間：9：20–12：30

修得単位：1 単位

学習目標：新規授業のため後日更新

授業内容：新規授業のため後日更新

実技科目：後期実技授業名：「映像制作 1B」 担当教員：奥牧裕介

授業期間：2024/10/04(金)– 2025/02/07(金)

授業時間：13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：映像制作に関連したソフトや機材を使用した実践的な映像制作技法の習得と、それを応用した作品制作。

前半は主に AfterEffects を使った基本的なエフェクトおよびアニメーションテクニックの習得。

授業内容：デジタル技法を用いた映像制作の応用と課題制作。

実技科目：後期実技授業名：「VR」 担当教員：八幡純和

授業期間：2024/09/30(月)– 2024/10/19(土)

授業時間：9：20–10：50/11：00–12：30

修得単位：2単位

学習目標：ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。

授業内容：VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。

実技科目：後期実技授業名：「広告デザイン」 担当教員：近藤 忠

授業期間：2024/10/22(火)– 2024/11/09(土)

授業時間：9：20–12：30/13：30–16：30

修得単位：2単位

学習目標：課題をとおり、広告表現の面白さと発想と技術を学ぶ。

授業内容：●課題①：コピーを考える（授業内完結）

●課題②：ビジュアルにコピーを付ける（授業内完結）

●課題③：公共広告を制作する（ラフ提出→講評→完成物提出→プレゼン→講評）

実技科目：後期実技授業名：「ブランディング(仮)」 担当教員：片野慎太郎

授業期間：2024/11/12(火)– 2024/11/30(土)

授業時間：9：20–10：50/11：00–12：30

修得単位：2 単位

学習目標：新規授業のため後日更新

授業内容：新規授業のため後日更新

実技科目：後期実技授業名：「イラストアニメーション」 担当教員：飯田 萌

授業期間：2024/11/12(火)– 2024/11/30(土)

授業時間：9：20–12：30/13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：手描き、コマ撮りなど様々な表現を作品鑑賞から探り、自由にアニメーション作品を制作。

編集には premie を使用する。

授業内容：様々なアニメーション作品の鑑賞とアニメーション制作。

実技科目：後期実技授業名：「モーションデザイン」 担当教員：河井 祐

授業期間：2025/01/14(火)– 2025/02/08(土)

授業時間：9：20–12：30/13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：限られた短いスケジュールの中で準備、制作、完成までの一連のプロセスの習得。
短尺の中でも視聴者の興味を惹きつけられるような映像制作を目指します。

授業内容：架空のCM、ティザー映像を制作します。演出プラン（コンテ、リファレンス、音楽）を元に映像のイメージを膨らませ、素材の準備から完成まで一連の映像制作の行程を学びます。

実技科目：後期実技授業名：「就活ポートフォリオ（就職支援カリキュラム）」

担当教員：上野仁志、岡山拓史、田中北斗

授業期間：2025/02/10(月)– 2025/02/28(金)

授業時間：9：20–12：30/13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：ポートフォリオの授業では就職活動時に提出するポートフォリオの作り方を学びます。クリエイティブ業界の情報を学びながら、社会人になるための準備を始めます。

授業内容：自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。

学校法人高澤学園
創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp